

# 部活動の活動方針

千葉県立 船橋高等学校

校長名 安藤 久彦

<p>教育目標</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 自他敬愛の精神に立って互いに切磋琢磨し、専心研学の校風を樹立する。</li><li>2 創造的な知性と円満な徳性を培い、社会的に有為な人材を育成する。</li><li>3 強靱な体力と旺盛な気力を養い、自学・自律を通して実践力のある人間を育成する。</li><li>4 勤労を重んじ、進んで学習環境の整備に努め、明るい学園を建設する。</li></ol>
<p>部活動の基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 適切な指導 運動や文化活動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって親しむ態度を育成することを目指し、各部活動の実態や生徒の発達段階に応じた、適切な目標や計画を設定して指導する。 (1) 文武両道を意識し、科学的根拠に基づく合理的で効率的かつ効果的な指導を行うよう工夫する。 (2) 個人差や心と体の状態に配慮した指導を行う。 (3) 健全で持続可能な部活動になるよう、生徒の実態に合わせて目標や活動計画を策定する。 (4) 生徒が意欲的に活動し、良好な人間関係を築くとともに人権意識を育成する集団づくりを行う。 (5) 生徒の人格を傷つける行為（体罰・暴言・ハラスメント行為）は行わない。</li><li>2 適切な活動時間 効果的な練習となるよう工夫し、活動時間の短縮に努力するとともに、適切な休養日を設定し、心身の健全な育成を目指す。 (1) 平日の練習時間は3時間、土曜日および日曜日を含む学校休業日および土曜授業がある日の練習時間は片付け等を含めて半日程度を目安とする。ただし、競技特性、施設設備等による物理的な要因、生徒のニーズなどにより、それらを超えて行う場合は、「知・徳・体」のバランスのとれた人間形成を育成する観点から過度な活動等にならないよう十分に留意する。  (2) 原則として週あたり2日程度の休養日を設けることを目安とし、週末に休養日が確保できない場合や、大会直前や事前に計画した強化練習のために、休養日が設定できない場合は、代替で休養日を設定するか、生徒の心身の状態に細心の注意を払った活動を行う。</li></ol>

(3) 長期休業中は、生徒が十分な休養がとれるよう、まとまった休養期間を設定する。

### 3 事故防止

活動内容や環境整備に注意し、事故防止に努めるとともに、危機管理マニュアルに基づいた緊急体制を整え、安心して安全な部活動を推進する。

- (1) 生徒に安全に活動するための知識・技能を身につけさせ、自発的に安全に留意した活動ができるように指導する。
- (2) 生徒の発達段階、体力、技術などを把握し、無理のない練習となるよう留意する。
- (3) 怪我などの不測の事態に備え、校内の緊急体制を整備する。
- (4) 高温多湿の中の活動の際は、熱中症対策を十分にとる。
- (5) 施設・設備の不具合等を念頭において、活動場所周辺の整理整頓および点検は日常的に実施する。
- (6) 気象変化に注意し、落雷や突風などによる事故防止を図る。

### 4 その他

- (1) 安全な指導と職員の負担軽減のため、原則として複数顧問制とする。
- (2) 生徒個人負担となる金銭授受については、文書により保護者に説明し、事後に会計報告を行う。
- (3) 地域行事やボランティア活動は、負担にならない範囲で積極的に参加し、地域に開かれた学校を目指す。